

世界が尊敬する日本人・鳥インフルエンザ恐慌

ニューズウィーク 日本版

400円

Newsweek

世界が 尊敬する日本人



Japanese

ドイツ新首相
新聞が報じない
メルケルの「素顔」

新型iPod
ビデオ機能の奥に
秘められた未来戦略

ADHD
片づけられないのは
脳の病気のせい？

2005

10・26

職人技で偽札との「正戦」に挑む

■松村喜秀 (偽札鑑定家)

世 界的な偽札鑑定専門家、松村喜秀の戦いの拠点は一東京・浅草橋の小さなオフィスにある。松村は何十年もかけて紙幣偽造の「本場」である南米や東南アジアを回り、ドルや円、ユーロなど驚くほど多くの偽札を収集。北朝鮮から流出する精巧な偽100ドル札「スーパーK」や「スーパーZ」などを見破ってきた。

村松が顧問を務めるクライアントのリストには、各国の政府や中央銀行も名を連ねる。彼の会社が開発した偽札鑑定機は、88年のソウル五輪で使用されて以来改良を

重ねてきた。現在は年間約1万台が生産され、70%が輸出される。

松村は、偽造紙幣を入手するためなら売春地区も歩く。東京の職場では、紙幣に描かれた人物の毛髪が多すぎないか、本来ならあるはずの点が消えていないかと執拗に調べる。「細かい作業だから日本人向きだ」と、村松は言う。

その執念の裏には、彼のキリスト教徒としての使命感がある。「偽札は許せない。正義以外は絶対に許せない」。偽札作りとの対決は、松村にとっての「正戦」である。

コリン・ジョイス(東京)



Yoshihide Matsumura